

## 九条東小学校の今後の学校再編に向けた説明会【会議録】

### 1 日時

令和5年11月15日（水） 19時00分～21時15分

### 2 場所

九条南小学校多目的室

### 3 参加者

地域・保護者等の方々 21名

### 4 説明者及び関係者

#### 【西区役所】

三村 西区長

村上 西区副区長

玉置 西区役所教育担当課長

藤本 西区役所教育担当課長代理 外7名

#### 【教育委員会事務局】

山東 総務部学校適正配置担当課長

岡永 総務部学事課学校適正配置担当課長代理 外2名

#### 【九条南連合振興町会】

村井 九条南連合振興町会長 外2名

#### 【学校関係者】

北村 九条南小学校校長

小林 九条南小学校教頭

### 5 説明会の概要

(1) 三村 西区長よりご挨拶

(2) 玉置 西区役所教育担当課長より資料説明

(3) 質疑応答

## 6 質疑応答の内容

(本田地域の方)

先週も参加させてもらったんで、重複質問をやめますけれども、二つ。

聞きたいことが、11 ページの九条東小学校の児童数の推移のところなんですけど。九条東小学校の入学率が、ここ3年すごく激減している。6年前は70%あるのが、激減しているのは、何でなんかっていうのはどんな分析をされているのか知りたいなど。

もう一つは、九条南と九条北の入学率っていうのがどういう風な状況なのかを教えてください。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

まず一つ目のご質問についてでございますけれども、私ども保護者の方に追跡調査まではしてございませんので、詳細な形でということはないところではございますけれども、近年の入学率等ということで、まずは、そもそもこの地域におきまして、この校区にいらっしゃる子どもの数が、そもそも減っているというふうな状況があるというのはあるかというふうには存じてございます。

続きまして、九条南、九条北小学校におけますご質問でございますけれども、九条南、九条北小学校は近年、当然私立等で出られる方もいらっしゃいますけど、新たに転入されたりといった方もいらっしゃいますが、ここ最近ほぼほぼ100%に近いような増減の出入りの割合でございます。

(地域の方)

すいませんここに住んでないもんで、ちょっと質問しにくかったんで私普段浪速区に住んでおまして、今日来てるのは西区に仕事の関係で、縁もありまして、来さしてもらってるんですが、ちょっとこの学校統廃合の問題そのものについて私は興味もあり、というのは、私の子どもは、浪速区の塩草立葉小学校というところにいますけども、ここは、塩草と立葉小学校を統廃合したところなんです。

上の子が行くときは、うちの近くの立葉小学校に行けると思ってたら、子どもの数が減ってきてまして、統廃合しなければなりませんという話ですごくがっかりして、そんなもんなのかなと思っていたんですが、統廃合してわずか4年の間で、次は児童数が増えましたということになったんですよ。

珍しいケースなのかもしれませんが、教育委員会の皆さんよくご存知だと思うんですけどね。

それでどうなったかという、校舎を増築しないといけませんという話になって、まだ、立葉小学校の校舎が残っているにもかかわらず、塩草小学校の運動場に校舎を建てるということになりました。それで、運動場が狭くなりました。

私たち保護者の側が求めた第2グラウンド、というものを設備してもらうことになって、それは第2グラウンドを活用できるということですが、税金がね、使われてると。

今そういう観点も、あろうかというふうに思いますんで、言いたいことはいろいろありますが、最初に区長がおっしゃった、校舎を増築しなければならないと、この九条南について。その間、運動場が使えなくなるというふうに聞こえたんですが、それはもう早速、工事が始まるのか、そうなる、と、どういう、今の児童たちのその運動場の確保、ということに、今の案としてなっているのか。

で、運動場に校舎建てるという意味なのか。

その辺の説明がわかりませんでしたので、教えていただきたい。

(玉置 西区役所教育担当課長)

はい、ご質問ありがとうございます。

九条南小学校の校舎の増築に関することですが、私ども、設計に2年、工事に3年かかるというふうに言われておりますので、今年度にこの案をまとめていけばという前提条件ではございますけれども、令和6年度、令和7年度にその設計を行いまして、令和8年度、9年度、10年度の3カ年度にかけまして、工事を行っていくというふうなことでございます。

その令和8年、9年、10年度の3カ年のところで、具体的な、いつ着工していつ完成っていう、そこはまだこれからでございますけれども、少なくともその3カ年のところのどこかで運動場等が使えなくなる。というのは、見込まれているところでございます。

そういった、令和8年度以降のところでございますので、先ほど申しあげましたようにその時にはなりますけれども、他の学校を借りる或いは運動会等でしたら他の場所で実施すると、実際そういったような実例もこれまで他の区の学校の例でもございますので、そういったことで、学校長含めて、今後きちっと対応して参りたいというふうに私どもは考えております。

(地域の方)

他の学校では、運動場の中に、トラックが入ってきて、全面使えない時期が、結構長い時間あったんです。

その隣にね、難波中学校という中学校がありますので、それ使えたんですね。

この場合、どうすんのかなって思うんですけど、何もないんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

今、令和8年度の話になりまして具体的にはこれからはなりませんけれども、例えば近隣の学校と言いましたらここでは、九条東小学校でありますとか西中学校もございますけれども、そういった学校であるとか、あと他の場所で、例えば行事とかを行うとかそういったようなところっていうのは、今後、きちっと私どもとしては考えていきまして、きちっと対処して参ることを考えております。以上でございます。

(地域の方)

ということは、休み時間の中に、ここから東小とか西中とかに生徒たちが行くという想定でしょうか。信号とか渡って。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。

例えば、もし九条東小学校をお借りするということになると、そういったようなことになるかと思えます。

ただ、では、いろんな選択肢は考えないといけないなというふうに思っているところですので、そこは、他の学校であるとか他の場所を借りるとか、そういったことをしまして、教育活動そのものが、そもそも実施できないといったことがないようには、これからきちっと考えて参りますし、きちっとそこは対処して参る所存でございます。

(九条南地域の方)

なんかこのお話聞いていると、ずっと子どもが減っていく想定のお話みたいですがね。今大きなマンション建ってますし、子どもが増えることの想定は、住民票でなしに、よそから、転居で子ども増えることもありますよね。そうなった時は、そういう想定はわかりませんよね、今からそんな想像できないし。

だけど、そんなときだったらどうするんですかね、九条東小学校の地域で増えたりした時は。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

今時点で九条駅の近くにマンションが建つという計画をされている部分につきましては、把握してございます。

把握はしてございますけれども、ただ、いわゆる大規模なマンションが建つと

ということがない限り、ここの地域につきましては、適正規模が12学級と申し上げましたけど、実は12学級というのはクラス替えがそれぞれの学年でできるという規模のことを言いますけれども、このお住まいのところの地域について、そもそもそういった形で、どの学年もクラス替えができるような規模になっていくかというふうな見込みは、今のところは全然ございません。

以上でございます。

(九条南地域の方)

九条南の校区に住んでいます。

10ページに書いてある、昭和54年度の時は、例えば九条南ですけど、345人の子どもがこの中に入れてたんですよね、この校舎に。で、15ページの上の九条東小学校と九条南小学校がくっついたら、令和11年度には336人子どもがおるっていう意味なんですか。この表は合ってますか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

おっしゃる通りでございます。

(九条南地域の方)

そしたら、昭和54年の時に345人入ってて、これから九条南の折れ線グラフも、子どもが減るっていう推定って言うのはあったから、そもそも校舎の増築工事が必要じゃないんじゃないかなって思うんですけど。九条北なんか607人入れてたんだったら、もっともっと増築工事は不要なんじゃないですか。さっきおっしゃってたみたいに、その工事中に子どもが体育とかできない可能性とか、運動場で思い切り遊べない可能性があるんだったら、増築工事って本当に、子どもがこの地域は減っていくのに必要なのかなって思います。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問、ご意見ありがとうございます。

今のお話についてになりますけれども、まずおっしゃっておられました、昭和54年度の児童数が同じような規模ではないかというふうなお話だったかと思えます。

昭和54年度と今の時代で学級編制の基準とかも大きく異なっております。

今は1クラス35人で編成するようになってございますけれども、昭和54年度はちょっと私も不勉強で申し訳ございませんが、1クラス40何人といったような編成で、クラス編成をしていたというふうなことであったかと思えます。

そういった1クラス何人で設定するかというところが、まず違うというところ

ろがあろうかと思えます。

あともう一つは、昭和 54 年度との違いで申し上げますと、特別支援学級です。その当時と比べますと、増えているという状況もございます。

私ども大阪市もインクルーシブ教育ということで進めてございまして、希望される方につきましては、小学校でどんどん入ってきていただいているというふうなことで特別支援学級も希望される方もかなりございますけれども、当時の特別支援学級ってのはそれほど多くいらっしゃらなかった状況もございます。

今も今後もそうですけれども、当然、特別支援学級の教室の数っていうのも、不足して参るというふうに見立てておりますので、そこはきちっと対応していかないといけないというふうに考えてございます。

あともう一つは、昭和 54 年度当時は、一つの学級のところで、皆全員が、40 何人が、月曜日の 1 時間目から、金曜日の 5 時間目まで授業を受けるというスタイルで当時は行っておりましたけれども、今の時代は 35 人学級に学級編制を引き下げて、クラス分けするという以外にも、国語であるとか算数であるとかを少人数に分けて授業をするということで、きめ細やかな、教育をめざしていこうと、大阪市含めまして、そういう方針のもとで行っております。

そういうきめ細やかな教育で、一つのクラスを、ある時間二つに分けてというふうになりますと当然、また別でクラスの数以上に、普通教室が必要となって参りまして、そういった状況もございまして、増築工事は一定必要になるという状況でございます。

そこのご説明が先ほどの説明では足りてなかったかと思われましたので、補足をさせていただきます。

ご質問ありがとうございました。

(九条南地域の方)

今日はありがとうございます。

九条南の地域に住んでいるものですが、今、子どもが 2 人いまして、上の方が 4 歳の年少で、下の子がもうすぐ 2 歳になる母親です。先ほど質問されました令和 2 年度入学生、令和 3 年度入学生で東小学校の児童数が、ガクッと減ったっていうところなんですけど、息子が今このすぐ隣の福音幼稚園に通ってるんですけど、それと同じタイミングで福音さんもすごく園児数が減ったんですよ。

今後も、園児さんが来てくれるかって言ったら、これちょっと大変なのかなっていうのが保護者の中で出ているんで、その園に何かあったというのは本当に子どもがいらないんだろうっていうのは実感しています。

園のバスとかもない幼稚園なので、あまり遠くからってなると、なかなか人も来ないし、今共働きの世の中なので、保育園にどんどん人が行くっていうような

形なんですね。で、地域のお母さんたちの話の中でなんですけれども、川の向こうに行けば、すごい人数多いじゃないですか、堀江、日吉、本田とか。その辺りが通学区域を変えたら、こっちに人が来るんちゃうとかいうことはお母さんたちの中で言っていたりするんですね。そのあたりって変わらないのかなっていうのは、保護者としての声なんですね。

ちょっと自分自身の話になるんですけど、ほぼ安治川トンネルの前に住んで、本田小学校まで通った身なんですね自分が。小学校一年生の足では本当に遠かったんですけど、九条北小の方が近かったんですよ。そういう学区編成的なもので、統廃合はこのまま進むんでしようけれども、小学校区域っていうのはもう変わらないんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

通学区域、校区の変更に関するお話っていうのは、実は先週8日の説明会でもご質問をちょうだいしたところでもございますし、関心事であったかと私どもも思っております。

実は校区変更についてなんですけれども、その前にですね、まず各学校は、この学校の校区にお住まいの地域の方々に、本当に多大なご協力をいただいている状況がございます、長年に渡りまして。例えばですけれども、登下校時の見守りでありますとか、PTAの活動でありますとか、あと例えばコロナがあげまして、この地域でも実施されました夏祭りでありますとか、あと災害が発生した場合、学校というのは避難所になりますけれども、その避難所を開設していただく作業でありますとか実際にその避難所に駆けつけていただいたりとか、そういった様々な場面で、長年にわたって多大なご協力をいただいているところでございます。

校区変更は、片方一方の地域だけではなくて、双方であるとか、近隣の地域の方との合意も必要かと当然考えております。

私どもとしましては、その時々の子どもの数の状況で、頻繁に今はこういう状況だから、こちらの校区に変更します、また、3年後5年後になって状況が変わったので、あっちの校区にまた移ってもらいますというふうな、そういう頻繁に変えるというものではないと思っております。

そういったようなことをしてしまいますと、行政による都合の良い線引きの仕方がありますと、地域住民の方皆さんあって、学校が成り立っておりますので、その地域住民の方からご協力得にくいと考えておりますので、私どもとして、校区変更は難しい状況がございますし、今の、先ほども申し上げました、そもそも九条東小学校校区にお住まいの方の子どもの数等を見てますと、やはり根本的

な解決策が必要ではないかと思っているところでございます。

以上でございます。

(九条南地域の方)

九条南地域に住んでるものですが、多分人数統合しても各学年二クラスぐらいになると思うんです。

工事期間が3年とありますけど、それは、3年かかるんですか。それとも3年以内に収まるもんなんですか。

多分、増やすとなると、教室数が一つ二つぐらい増やせば、入るんだと思うんですが、その二つの教室を作るのに、3年かかるのかが気になります。

3年かかれば、先ほど言われたように運動場とか体育の問題がありますけど、プールを造った時にも工事があって、体育祭とか別の学校でやったり、何とかあそこの区画だけだったので、体育も普通に運動場でできたので、3クラス増やすぐらいだったら、運動場が使えない状況じゃないんじゃないかなと思うんです。

どのぐらいの大規模の工事なのかは、もちろん設計があつてからだと思うんですが、どのぐらいで今考えてるのが気になります。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

3年というふうに申しあげましたので、漠然とした不安を持たれてしまったのかなと思っているところでございます。

先ほど申しあげました設計2年、工事期間3年というのは、今、一般的に工事を行う際に必要となる期間と思ってございまして、具体的には、おっしゃってられましたように設計をきちとした上で工事期間は決まっていくものです。

工事は、校舎棟を造るということもありますけど、それに伴いましていわゆる校舎の外回りであるとか塀であるとか、そういったところの工事も含めた形での工事になろうかと思っているところでございまして、私どももちょっと今、3年ということによって本当に令和8年4月から令和11年の3月31日まで工事をやることになるのかどうかというのは、これからシミュレーションしないとわかりませんし、丸々純粹に3年かかるのかと言われてたら、ちょっとそれももしかしたらそうではないのかもしれませんが、3年は見ておかないといけないのではないかと思っているところでございます。

あと、3年かかるような工事の規模なのかどうかと、そういうご質問だったかと思うんですが、先ほど申しあげましたように、普通学級については35人ということで学級編制が昔に比べたらどんどん引き下げられておりますことと、そういったいろいろと少人数のため、わざと人数を二つに割って同じ時間で、こ



っちの教室とあっちの教室で、同じ習熟度に応じたような授業を行うために教室がいるとか、そういったことがあるのと、特別支援学級の増というのもございますし、あと、こういった機会に、その時代の状況に応じて、こういった特別教室が必要になるんじゃないかとか、こういったような特別教室は、これぐらいの大きさを備えていくべきではないかということ、建ててから以降ですけれども、そういったようなことで、時代時代の状況に応じて変わって来たりします。

そういった場合に、この増築工事っていう機会をとらまえて、今、例えばこの教室が本来2教室分ぐらいの大きさが今の時代だったらあったほうがいいと思うんだけど、現状は昔建てたために1教室ぐらいしかないということであれば、その部分をきちっと補いにいくとか、そういった普通教室以外の教室も検討した上で、工事規模ってのは考えていくところがございます。

具体的にはまだこれからにはなりますので、まだ工事規模は固まってございませんけれども、そういった状況があるということは、今この場でお話できればと思いました。

ご質問ありがとうございました。

(九条南地域の方)

今、必要な教室だけじゃなくって、未来を考えて、子どもたちにとって必要なものも、同時に造ってもらえるっていうことを考えていただけるってことですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

大阪市の義務教育ですので、教育委員会の方で小学校であれば最低限備えておくべき教室の種類であるとか、その大きさであるとかっていうのは大体決めてございます。それが時代とともに変わっていったりというのはあるんですけども、そういったような範囲の中で、必要とされるような教室等については、きちっとその機会にも整備をしていくという考え方のもとで、工事は行われており、工事の規模を考えているところでございます。

以上でございます。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

教育委員会の山東といいます。

少し補足しますと、大阪市の学校施設の整備基準というのが、決まっております。

こういう増築する機会に凶工教室であれば2教室分必要であるとか、その他管理諸室である事務室、職員室といったところがきちっと九条南小学校におい

て、大阪市の整備基準に見合っているかどうかということも精査した上で、学級が増加する分、35人学級の方であったりとか、特別支援学級の方であったりとか、そういったことで、工事のボリュームが今後決まっていくという形で、ご承知おきいただいたらと思います。

以上です。

(九条北地域の方)

前回も行かしていただきました。

さっき建築基準があるって言ったんですが、それどこに書いてあるんですか。わからないですわ。データが公開されていないから。どっか見れるんですか。

それから、今手元に大阪市小学校学校配置適正化の推進のための指針令和2年っていうの持ってるんですが、これ最新なんですか。ここに令和4年度までの統廃合の経過が書いてあるんですよ。令和4年度統廃合しているのは、大池と舍利寺、田島と生野南、林寺と書いてあるんですけど、これ令和5年度も進んでる学校あるんですか。

そしたらその具体例を教えていただければ実に参考になるんですよ。

架空の論議ばかりしてなくても。だからデータがないんですよ、特に西区に至っては港区以上にデータ出してないんですわ。

私、昨日区役所行って聞きに行きましたけど、データがないんですよ。

何で港区出てるのに、西区出てないんだ。

言っておきますが、港区なんか学校が11あるんですよ。ここより多いんですよ。人数少ないのに。小規模校も多いし、もっと深刻な問題抱えてると思います。

もう見てるだけでデータを見てるだけで全く違うから、大阪市民全体が興味持たなあかんことは思うんですけどね。

だからその興味持たせるようなデータを出さないからわからない。

ちょっと驚くこと言うておきましょうか。

今日ね、某氏のところに聞きに行ったんです、わからないから。

ほんなら、もうめっちゃくちゃなこと言っていましたわ。

統廃合したら、11年度から下の学年は廃校って誰も行かないから、転校することはありませんか。冗談じゃないですよっていう。

どんな説明してるんですか一体。

今ね、架空で架空でばかり言ってるけど、実際にやってる学校が今までこんだけあるんじゃないですか。

私一番心配してんのはやっぱり転校ですわ。転校ね。

その受入れる学校も、転校して入ってくると、学校も転校して出ていかなあかん。それちゃんと配慮して、もうこの中には書いてありますよ、心のケアちゃ

んとしと。具体的なこと何も書いてませんわ。

再編成の案もこちちゃんと書いてあるんですよ。

一つの方法として探って、答申にちゃんと出てるんですわ。

もうできないできないばかり言っているけど。

教育委員会の方はね、人口移動が激変してね、キャパが補えなくなると困るから、大ざっぱなことしか言わないんだろうと思うんですけども。

それはわかりますよ。

教育カリキュラムね、今の高校2年生から随分変わってますわ。

ものすごい変わってますから、カリキュラムが。

実学的なものになってきてるなあと思いますわ。

だから施設のね、今までみたいな教室では対応しきれないだろうから、タブレットだって渡してるし。変わってるからね。

だからそれをね、何で公開してくれないのかなと思いますわ。

だから最初言ったけど、議員みたいな方まで話伝わってない。もう恐るべきことですわ。

高校とちやいますよね。高校だったら高校も1例だけね、扇町総合なんていうのは、その学校廃校になりますけど、そこに学校を設置するから、生徒残します。西高なんかの生徒集めてやっていってるから。全滅ではないんです。そこ残ってもいい。対策立ててはりますわ。

それもね、やっとわかったんですよ。調べて。

だから、これ今後たくさん学校をなくさないといけない、大阪市は。

そこでまだたったこんだけしかやってないわけじゃないですか。

こんだけしかやってない。

これからいっぱいやらなあかんわけやから。

やっぱりちょっと情報もちゃんと公開して伝えるにさせていただいて、言うてはることは随分わかりますよ。

もう少人数展開なんか、複式学級なんてね、やっぱり生徒かわいそうですわ。

学力差が開いていくからね。

それから施設もね、不備であつたら困る。それは分かります。

情報出さないというのは、よう分からんのですわ。

だから明日また聞かしていただきますけど、私も今勉強中で至急に情報収集してるんですよ。

これ一つの例をもって、自分がよくわかってる自分が行った学校でやられるわけやから。私なんて公園の掃除してますからね。子どもたちがいじめもね、いじめられた、喧嘩、とかいろいろしはるわけ。それをいつも市民の側で防止してるんですよ。

だからそういう学校変わるというのはね、機械的なもんじゃなくて心の問題もいろいろありますんでね。

もうちょっと丁寧にやっていただけないかなと思います。

これ2年度までしかないんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご意見ご質問ありがとうございます。

西区役所の関係で申し上げますと、まずデータが西区役所のところにきちっと公開されてないのではないかというふうな厳しいご指摘だったかというふうに思っております。

まず私ども西区のホームページで学校教育というコンテンツがありまして、学校の適正配置というコンテンツがありますけれども、そこにはこの間、おかれてる状況、西区は、子どもの数が減っている地域もあれば、先ほども話ありました子どもが増えている地域もございまして、それぞれおかれてる状況がございまして、そういったことを載せたりしてございました。

ただ今年度、今後のそれぞれの学校の状況推計がどうなってるのかっていうのは、ホームページの方では公開はしてはございます。

あと、私ども教育会議というのもございまして、そういった教育会議のところで出された議論配布資料も、ホームページ等々で公開に努めてございますけれども、そこで過去、例えば昨年度一昨年度等で配布されている資料の中には、今の西区の小学校の今後の推計、その時点におけます推計というのも資料としてデータを載せております。

ただ、今おっしゃっておられましたように、どこに載ってるんだという厳しいご指摘をいただいているということは、きちっとそれが皆さんに、パッと目に触れるような形で公開ができてないというふうに、今お話聞いて思いましたので、私どもも、見ていただけるような形で、もう少しその公開のやり方含めて今後改善していく必要があると思った次第でございます。

あと、九条東小学校ですけれども、統廃合したらそれ以降の学年は、誰も入学しないのではないかというふうなお話でございましたけど、先ほども申し上げましたけれども、令和11年4月の統廃合をめざしておりますけれども、令和11年3月までは九条東小学校でも、新しく子どもはきちっと毎年度毎年度受け入れて参りますし、そこで今されておられますきめ細やかな教育っていうのもきちっと維持できるように、教員の数の追加の措置、加配と申しますけれども、そういったことも行いながら、私どもとしてはきちっと九条東の子どもも含めて、九条南・九条北の子どもも含めて、スムーズに統廃合ということで子どもたちが進めていけるようにきちっと統廃合の前の段階からですね、交流するとかそう

いったことも考えて行おうと考えているところでございます。ご意見ありがとうございました。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

教育委員会からは、指針について、ホームページでご覧になっていただきまして、これが最新なのかというご質問があったかと思えます。

令和5年度の統合があるんじゃないかということもあったかと思うんですが、令和5年度に統合したという学校はございませんでして、令和4年度に統合したというのが今最新の情報でございますので、ご覧になっていただいている指針につきましては、現状において最新だということで、ご理解いただければというふうに思います。

我々の方も、わかりやすく情報が市民の方に行き届くように改善も含めて検討していきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

(九条北地域の方)

失礼します。

九条北校区のものなんですけれども、年長の子どもがいまして、来年の入学になるんですけれども、何でこの説明会が11月なのかなってというのがちょっと疑問でして質問というか、10月30日までに希望の学校を書いて紙出してくださいという入学案内が来てたんです。

なのに、後になって、来年入学の東の子たちは変更を余儀なくされますよ、これはちょっと選ぶ前に教えていただきたかった情報だったなっていうのは思うんですが。どこかに出ってたんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

まずこの11月という時期に説明会を確かに開催させていただいているところではございます。

私ども、いつも5月時点の子どもの数というのは、文部科学省に出しております基本的な重要な統計でございまして、そういった子どもの数を見た上で、今後、将来的な推計、今の0歳児の方の状況とかも見た上で、最新の状況でもって判断をしていくというふうなことを考えてございます。

令和2年、条例が先ほど申し上げましたように改正されまして、再編整備計画をというふうなことでございましたけども、きちっとした最新の情報最新の推計に基づいて行う必要があるので、そういったいろいろ調整した上でこの時期になってるところでございます。

5月時点のデータの数字ですけれども、その後、いろいろな子どもの、このカウントはしているのか良くないのかというふうなことで、やりとりが5月6月7月とずっと続いてございます。

そういったことで、学校の数、子どもの数或いは推計的なものっていうのを見た上でっていうふうなことで、私どもとしてまずは九条東小学校さんのPTAでありますとか、地域の方々とも、お話をしていくという段取りを踏んだところではございます。

で、学校選択制まきにおっしゃっておられますように10月末に提出をというふうになってございます。

その通りでございますが、先ほども少し触れましたけれども、今ですね、11月20日までに一度出された分で、提出された学校の行き先を変更することが、11月20日まで可能でございます。

従いまして、今のお話とかも聞いていただいて、もし学校選びを考えよう、変えよう、或いは九条東小学校も今、来年度だけではなくてそれ以降も新入生きちんと受け入れて、教員の数も確保して行って、きめ細やかな教育ができるように、私どもとしては取り組んで参りますので、そういったことで、学校選択を変更しようというふうなことでしたら11月20日まで可能でございますので、お知らせできればと思いました。

以上でございます。

(九条南地域の方)

九条南の地域のものなんですけれども、そもそも、西区の中で、昭和54年度から令和5年度にかけては、児童数は増えているのに、西区の中で、これだけ子どもの数の偏りが出てしまった理由っていうのは何なのかなっていうふうに思ってます。

マンションが向こうにあってこっちにはない、ファミリー向けのっていうのをよく聞くんですね。

それは住む場所がなかったら家族で住めるような家が、この辺になかったら、それは向こうに行ってしまうし。

そういうとこなんかなっていうのはさっきもありましたけど、お母さんたちの中での話では言っはったり、子どもが小さいお母さんが多いんで、今家探してるんやけど、九条の方にはないわって言っはる人が結構多いんですね、ファミリーで住めるってなったら、どうしても向こうになるというのが、理由の一つかなと勝手に思っていたんですが、それは合ってますか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

昭和 54 年度とかから以降のということで、偏ってる理由に関するご質問ですが、まさにおっしゃっておられますように、特に近年、この 10 年 20 年だと思いますけれども、堀江地域でありますとか、西船場の地域でありますとか、そういったような地域中心に大規模なマンションが確かに建ってというところで、そこで、しかもそれが短期間に一気にこう建ち出したことによって、大きく子どもの数が変わっていったというふうな状況はあろうかと思えます。以上でございます。

(九条南地域の方)

ということでしたら、マンションってすぐになくなるものではないですし、今後、この先 20 年についても、やっぱり九条の地域では、子どもが増えるってことは考えにくいということですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。

今、この推計というのは、お生まれになられている 0 歳児の方が、6 年後一年生なったときどうなるのかは当然見込むことができ、それは確実に今いらっしゃる数がわかりますので、見込むことができると思えます。

ただ、おっしゃっておられた 10 年後 20 年後の将来推計というのは、きちっと確定させた形で何か分析するというのは、いろんな観点があろうかと思えますので、きちとした形でっていうのは、いろいろ研究しても必ずしもその通りになるとは限らないかなと思っております。

ただ、私どものこの案ではこの 6 年後の中にマンションが全く建たないというふうに、誰も断定できないとは思っております。

ただ、マンションが建ったとしても、この 3 つの小学校を 2 つの小学校にさせていただく案というのは、十分に対応できるような案にはしてございます。そういった考えをもとにしておりますということを補足させていただいたかったので、申し上げました。ありがとうございました。

(日吉地域の方)

まず一つは、校区の変更はできないとおっしゃいましたけど、以前校区の変更をしたのは何年前でしょうか。

そして適正基本条例というか、それを作って、12 学級から 24 学級までが適正っていうふうになってるということですが東側の方で、日吉もそうですし、本田とか、堀江とか、適正を上回ってるところがたくさんありますよね。そこはどう

いうふうにお考えでしょうか。

適正配置するのであれば、大規模の小学校を 24 学級までにしないといけないんじゃないでしょうかね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

まず 2 つのうち 1 つ目の校区変更に関するお話ですが、大変申し訳ございません、今手元に詳細な資料がございませんけれども、昭和 50 年代でありますとか、過去には、校区変更で対応した事例もあるというふうには私どもも理解をしておりますけれども、今、詳細のところにつきましては手元に資料ございません。

2 つ目のですね、今条例で 12 学級から 24 学級が適正規模になってるけれども、西区の他の学校についてどうなのかというご質問だったかと思います。

12 学級から 24 学級が適正規模となっておりますが、確かに他の小学校では 24 学級を上回っているような学校というのはこの西区では、複数あります。

それは先ほど申し上げましたように、マンションの急激な増加によりまして急激に子どもが増えた状況が大きな要因でございまして、そういったような状況に何とか一つ一つ対応するべく、私どもも子どもの数が多い学校の方の対応も同時並行で進めてきているところではございます。

例えば、堀江小学校が実は一番顕著な学校になってございますけれども、お住まいの地域の方々と、関係者の方々とも協議をいたしまして、苦渋の決断もいただいで、堀江小学校を分校といたしまして、新たにもう一つ、堀江小学校というのを設置するというをしております。それは、令和 6 年 4 月に開設します。

今、昔の西高校の敷地に校舎を建設しておりまして、今は堀江中学校が移転していますけど、その堀江中学校と同じ敷地に、堀江小学校の分校建てに行くことによりまして、そういったようなところで解消をしているところでございます。

あと、西船場小学校あるいは明治小学校のエリアになりますけれども、そちらも子どもの数が急激に増えて参りましたけれども、今全市的な判断も、関係者のご協力もあつたんですけれども、中之島小中一貫校を新たに大阪市で令和 6 年 4 月に設置するというので、西船場小学校であるとか、花乃井中学校の校区のところ、そこの部分について、今よりは解消していこうという取り組みは、実際に進めているところでございます。

用地がなかったりしますと、なかなか 1 年 2 年ですぐ対応できてないところは確かにあるんですけれども、子どもの数が多い学校のところでどうしていくのかっていうところは、順次進めているところでございます。

以上でございます。



(地域の方)

あ、すいませんさっきも発言しました浪速区に住んでるものなんですけど。

校区替えできへん理由がやっぱり、何か納得いかへんって言うのはあります。

2年前に福島区で校区変更やられてると思うんですけど、あのとき教育委員会さんなんかよくご存知だと思うんですが、そういう、話出してあげてもええんちゃうかなって思ったり。

何といたしますか、歴史的経過もいろいろあると思うんですけど。

浪速区幸町いうところが、日吉校区になってたりしますよね。

それで日吉が今30クラスとかいう状況にもなっていたり。

言いたいのは、この西区で今学校を減らすって言う話で、西区全体の問題を考えるのは区役所さんだったり教育委員会さんだったりすると思うんですよ。

どうしてもこの説明会に来てる人って言うのはここの地域のことを考えるってことになるんですけど。だけど、皆さんおっしゃってるように、大変だっというの分かるには分かるんですけど、でも一方でこれだけ大規模校増えて、問題になってるところで、減らすって言うので、例があんまりないんじゃないでしょうか。

中央区とか北区とか、今ガーッと増えてきてるところで、関西スーパーの前でかいタワーマンションが出来てきてるし、そんなん考えると、非常になんかこれ危険なんちゃうん、学校1校でも敷地あるところを残しといた方がええと思うんですよ。

というのは、西船場小学校の敷地に校舎建てる時に幼稚園なくしはったでしょ。その時も、ものすごい問題になって、テレビも取り上げたぐらいでしたけど、でも、無くしはってね、そこに校舎建てはったじゃないですか。

その時も大激論があって、敷地探して欲しいってみんなで言ってたんですよ、幼稚園のメンバーたちが。

でも、敷地はないと言い切りはったんですよ。

やっぱり敷地ってすごい大事だと思って、今回ね、西高校つぶしはったから堀江小と中が行けてって言う話ありましたけど。

残しとくって言うのは、すごい大事やと思ったりしてまして、そういう意味でも校区変更で、ほんまに対応する検討って、しはったんか、してないんか、PTAさんや町会の皆さんとの話し合いでされたって言うんだったら、その経過があればは思うんですけど、校区変更できないって言うことはないといいますが、福島区でやられてますので、そういうことはないんじゃないかなと。

だからこっちが少なくてあっちが多いというのは、結構長い間そういう状況になってるわけで、何かコロコロ変えなあかん状況とか、頻繁に変えたらあきま

せんでって言う言い方はありますけどそうでもないんじゃないかなというふうに思ったりしてます。

もう一つすいません、しつこいんですけど運動場でね、自分とこの小学校は第2グラウンド、どうしても作らなあかんていう話、結構激論をPTAの中でやって、それはもう信号を休み時間中に渡る際に、先生がそういう指導をやらなあかんていうことになってしまうわけで、そうなんでいいんかという話、結構やられて。だから、今まだ決まってませんの段階で、結論出さなあかんていうのってすごく酷やなっていう話というふうに思ってます。

で、校舎建てられたらそのあと狭くなるんでしょうか、運動場は、ということも気になっています。

最後に、先週私も九条東の方の説明会参加しましたが、なくされる方の学校で8時に終わりますっていう話が9時15分ぐらいまで、反対意見続出でしたよね。区役所の皆さんや、教育委員会の皆さんご存知だと思う。明確に私は反対ですと言って、保護者の方、お話されてたと思います。

その中で出た話で、東小学校もなくなるんでしょ、だからもう私は行かないって言うてる保護者がいっぱいいたっていう話を2人ぐらいされてたと思うんですよ。

だからそれは、この2、3年の間に子どもの数が減ってるっていうことの、大きな影響にもなってるんじゃないかなというふうにも思ってます。

何が言いたいかわからないなら、東で出た反対意見を反映しないまま、何かこう決めんといて欲しいなっていう思いです。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ご意見ありがとうございます。

まず校区変更に関するお話からになりますけれども、先ほども申し上げましたけれども、校区変更、過去西区も行った時期もございますので、西区役所として校区変更という選択肢が、学校適正配置の指針にも書いてあることもございますので、全く校区変更という考え方が選択肢からないかと言われたら、そうではございません。

先ほど申し上げましたように、要は校区変更ということによりますところ、特に、西区の区域内の各学校は、本当に近隣のその校区内の地域の住民の方々から本当に支えられているというのは、私担当しております実感しておりますけれども、そういった状況の中で安易に変えていくという、行政の都合で変えていくっていうのは、子どもにとってもその地域の学校を支えていただいている地域の住民の方にとっても、それはどうなんだろうというふうに思っているところがございます。

あと今、皆様ご存知のように学校選択制を導入しております。

学校選択制というのは、隣の学校を選ぶことができます。

昔と違いまして、その校区しか選べませんという時代ではありませんが、いろんな学校を選ぶことができる状況にはなっております。

ただ、なかなか今現実的には日吉小学校区、本田小学校区の方は、九条東小学校を選ぶことはできるんですけども、現実問題としては、九条東小学校を選んでおられるという方は極めて少ない状況がございまして、現状としましてはそうやって隣の学校を選んだりすることができるという制度を私どもとしては設けている中で、そういったにもかかわらずそういったような状況になっているというふうなところはございます。

あと校舎を増築しますと、狭くなるのかというご質問があったかと思えます。

これは教育委員会の専門部署の方が、校舎を増築する時にできるだけそのグラウンドをきちっと確保できるように、そこはすごく工夫をしておられて、いつも設計の専門部署がやっております。

設計というのは、来年度の予算を計上してということになりますので、あくまでもまだこれからではございますけれども、私ども区役所としましても校舎を建てることによってグラウンドが極端に狭くなったりかけっこができなくなるとかそういうことにはならないように、私どもも市役所の中において要望もしてございますし、実際にそういった形で、良好な教育環境をしっかりと確保できるように、私ども区役所としても取り組んで参ります所存です。

以上でございます。

(日吉地域の方)

日吉小学校の校区のものです。

今のお話ずっとお伺いしてまして、例えば起きたことに対して今対処こんなふうにしてますってお話がメインかなというふうに思うんですけども例えば、区の方で都市計画をしっかりと作られてコントロールをする。

マンション例えば建てるってなった場合も、一気に入居するのではなくって時期をずらしていただいて、その学校の生徒が一気に増えすぎないようにコントロールするだとか、あと九条の方の子どもが減っているってことがもうすでにわかっているのであれば、九条の校区の方にマンションの誘致をするだとかそういった、区の権限でどこまでのことができるかちょっとごめんなさい私も存じ上げないのであれなんですけれども、もう少しこう計画を立ててそのまちづくりをするっていうような視点を取り入れていただくとその起きたことに対して何かこう、後手後手になってしまうのではなくって事前に手を打つことができてそれぞれの地域が同じように子どもたち、近くの学校に通えるっていう

ような状況がつかれるんじゃないかなっていうふうに、すいません、感想になってしまったんですけれども。

そういった視点で区の計画っていうのを作っていただけたらすごく嬉しいなというふうに感じました。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご意見ありがとうございます。

西区のまちづくりに関するところのご意見だったかと思います。

権限で申し上げますと、この都市計画について、区役所としては権限は残念ながらございません。そこは、大阪市のトータルの部局のところになり、西区だけではなくて24区トータルを扱っておられる部局の考え方になってるところでございます。

西区役所ができることは、権限もないような状況ではございますけれども、私ども少なくとも先ほども少し触れましたけれども、この3つの小学校を2つの小学校にするというのは、決してマイナスのイメージで考えているわけではなくて、今までも、それぞれの学校が、きめ細かな教育であるとか特色ある教育を取り組んでいただいているんですけども、それをさらに維持する或いはもっともっと向上していくということで、魅力ある学校づくりをしていくと私どもとしては考えて参りますし、九条東小学校の土地がどうなるんだというお話もあるのではないかと思いますけど、先ほども申し上げましたけれども、西区役所としては、災害防災であるとか、地域コミュニティ拠点になっておりますので、その地域の方々のご意見もお聞きをしながら、有効活用もきちっと考えて参るというふうに思っておりますので、そういった形で私どもとしては、取り組んで参る所存でございます。

以上でございます。

(九条北地域の方)

私自身、子どもが4歳と1歳で、小学校の選択制で、私もともと大阪ではないので、転居して西区の九条に住んでるっていう身なんですけど、実際今自分の中で考えてるのが北校区ですけど、南小に行かせようかなと。実際まだ年少ですけど。

いろいろお母さんたちの話聞いたりとかして、ちょっと今考えてる身ではあって、今日こういう機会があつて興味があつたんで、学校の中もどんな感じかちょっと軽く見れるから来ようかなと思つて今日は来たんですけど、他の方のいろんな質問を聞いて率直に質問というか、思ったことなんですけど、実際、年少の上の子が小学校に入ったときに、運動場の話が他の方からあつたと思うんで

すけど、もう完全に半分、6年間の半分は運動場の増築とかの兼ね合いで何かしら影響が出るっていうのを、今率直に危機感を持ってるといえるような状況です。

南小の校庭も、決して私の感覚としては広いとは言えない校庭だと思うんで、その中で増築とか必要なんでしてもらうのはもうしょうがないと私の感覚では思うんですけど、やっぱりその子どもが、小1から小3ぐらいまで多分全部かぶるんですよ。

そういう中で、やっぱり小1とか実際他の方の質問でもありましたけど、先生が引率して、西中だったり、東小だったりに歩かせるのかっていうところで、やっぱり小1の足で、距離を何分かけて歩くかとか、やっぱりその移動時間っていうのが、学校のカリキュラムとかちょっと私も教員じゃないんでわからないんですけど。移動時間とか、そういうところが、学校という限られた時間の中で、どれだけかかるのかなとか移動だけ時間が減ってしまうんじゃないかとか、率直にそういう気持ちに質問を聞いてなったので、そういうところの不安が同じように、ここに聞きにこられてないお母さんが思うのかなっていうのを思ったんで、ちょっと言わせてもらったんです。

実際、私の住まいからは東小が一番近いんですけど、実際問題やっぱりお母さんたちに、上の子と下の子で、子育てのところでよく行くのでお話聞くんですけど、やはり子どもも少ないっていうのは、皆さんやっぱり言ってます。結構いろんなお母さんは。じゃあもう少ないから行かせても友達が少ないから選ばないとか、もう南か北に行かせるっていう話を聞いたり、もう逆に、賃貸やから、堀江の方に引っ越して向こうの学校に行かせるとか、日吉学区がいいからそちらに行かせるとか、やっぱり結構そういう話を聞くんです。

でも多分それは何でそっちを選ぶのかって話を聞くと、教育とかなんかそんな方がいいからとか、そういう話に結局なっちゃうんですね。

そこはお母さんたちのそれぞれの、子どもにどういう教育をさせたいかとかかっていう価値感が反映されてるのもあるのかなっていうので、マンションも結局やっぱり、皆向こうに行かせたいから南で探すけど家がないっていう話も、今の幼稚園とか保育園で年中、年長のお母さんとかと話すると、そういう人もやっぱりちらほら居たりするっていうのが、私の周りで聞く話ではあります。

そういうことっていうのが、区役所の方とか教育委員会の方には届きづらいのかなっていうのも思ってるので、この場を借りてお伝えさせていただけたらなと思ったので、ちょっとマイク借りて、発言させていただきました。

以上です。

(玉置 西区役所教育担当課長)

はい、ご意見ありがとうございます。

夜分にまで来ていただいて、ご意見の方ちょうだいいたしました。ありがとうございます。

大きく二つあったかと思えます。

小学校の工事をしている間、小学校の低学年の子というのはなかなか簡単には他の学校とか含めた教育活動が成り立つんだらうかっていうふうなお話だったかと思えます。

そこはこれから工事の期間がどれぐらいかかるのかというのをきちっと見据えた上で、何月から着工するのかとかいう細かいところもこれから設計をしていく中で出てくることですので、そういったことと、あと今それぞれの九条南さん九条北さん、東さんの方でされておられる小学校の年間の授業のどんな時期に何をしてるのかとかいうふうなこともきちっと見た上で、どうするのが最適なのかっていうようなことをきちっと考えて参ります。それは、おっしゃっておられましたように、同じ小学生といっても低学年と高学年では全然違うかと思えますので、低学年の場合どうしていったらいいのか、高学年の場合どうしていったらいいのかっていうのも含めてその発達段階に応じて、きちっとそこは、私どももこれからその設計で具体的にこのスケジュールが出てくるのも見据えながら、令和8年に向けて、区役所もしっかりと考えて参ります。

あと、九条地域というよりは、他の校区の方を選んでる方もいらっしゃるんじゃないかなというふうなお話であったかと思えます。

実は5歳児、新一年生の方には、いつも学校選択をしていただかないといけないので、区役所の方で学校案内というのを冊子をつくりまして、西区内の5歳児になられた保護者の方にお配りしてます。

そこにそれぞれの学校の特徴であるとか、いろんな指標、物差しとかを設けておりまして、例えばですけれども、九条東小学校というのはすごくきめ細かに教育をやっておられます。この九条南小学校さんもすごく地域の方と、子どもたち、教職員が一体となって教育活動をされておられたり、今日お越しいただいてますけど、地域の方がものすごく支援をしていただいたりというところがございます。

九条東小学校さんも、すごく地域の方が小学校を支援していただいているということがあります。九条北小学校も同じでございます。

今でしたら、全国学力テストの結果であるとか、今、全国的に体力テストっていうのも全小学校やってますけど、そういったようなところの結果であるとか、そういったこともきちっと載せてますけれども、本当に九条の三つの小学校、本当にいろんな形で取り組んでおられてというところで、西区役所としてはそういう認識は持っております。

そういったような状況があるということで、まだ年少だったということで、そ

の冊子をお渡しはできてないですけども、5歳児であれば必ずそういったものをお渡しして、情報でもって選んでいただくような基準になるような、各小学校の取り組みを書いた冊子を配っておりますので、補足させていただきました。ご意見ありがとうございました。

(九条北地域の方)

ちょっともう時間もあれなんで手短にします。

あのですね、堀江中学校の校舎が残ってるのは、日吉側の辺りが拡大する可能性があるから校舎を残してるんだらうなと私は推測しています。

次、増えた場合ね、リスクは西側、東側ものすごい増えてますからね、残してるんだらうなと。

ところが前のグランドはね、これもちょっと未確認なんですけども、もう教育委員会の管轄を離れているから使えない。

東小学校のグラウンドは、教育委員会の手を離れると、そういうので使えない。

いや、校舎増築に使ったらええなと思うんですけどね、もし万が一だったらね、そういうなんかくだらない理由やなと思ったんですよ。管轄が違うから使えない。

公園だから、公園を持つとこれから学校がたくさん無くなっていく可能性があるのに、廃校になったら教育委員会は一切手引いて、そのグラウンドってもう使えない。それは事実なんですか。

堀江中学の校舎とそのグラウンドっていうのは教育活動に使えないっていうのは事実なんです。もう東小学校だって、教育活動に使えない。そうなるって授業で使えない。それは事実なんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

まず九条東小学校の用地で申しあげましたら、統廃合の後の話ですけども、この九条東小学校の用地を今後どうしていくのかというふうなことにつきましては、区役所としては先ほど申しあげたような形で有効活用というのを考えて参ると思っております。

まずは区役所の方が、どういったようなことが考えられるのかっていうのをまず考える所属になってございますので、東小学校の用地を今後どうしていくのかっていうのは、これは区役所の方が九条東地域の皆さんともお話をしながら考えていく内容にはなっているところでございます。

堀江中学校になりますけれども、堀江中学校は確かに今非常に狭いということがありましたので、移っていただいた状況でございますけれども、もともと堀江

中学校でグラウンドとして使っておった場所も、もともとは公園の施設で、そういったそれぞれの学校によって、この用地がもともとどういう成り立ちになっておるといのは、確かに出てるところの状況でございます。ですので、一概にこの学校用地イコール何々ってということではないんですけれども。そういったようないろんな事情があって個々のケース、個々のケースで考えていくような内容になるのではないかなと思っております。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

私も今手元に資料がないので、不確かなことで非常に申し訳ないんですけど、堀江中学校の前のグラウンドっていうのは、そもそも公園用地ではないかなと思います。ですので、それは教育委員会としては、お借りしたという形になろうかなと思います。

今もう教育活動という形で、教育委員会からお借りしている状態ではないということだと思います。東小学校は今説明があった通りだと思います。

(九条東地域の方)

すいません、今の質問に続くんですけども。

例えば九条東小学校用地の今後の決め方によっては、必要であれば教育活動に使うことも可能っていうことですよ。絶対できないっていうわけではないんですよ。

跡地の活用の仕方として、例えば地域が一部権利を持ったりとか、何かあったときに、地域のために、それこそ九条南が増設するってなったときに、一部を貸してもらえませんかみたいな、例えば地域同士であったりとか、学校から地域にお願いするような形であったとして、どんな形であったとしても、絶対使えないってわけではないんですよ。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

今、大阪市において、生野区の方で定期借地借家という形で先行して進めています。それ以前については、学校が統廃合した後は原則売却という考え方でしたが、先ほど来、玉置課長が説明しているように、土地と校舎の建物を事業者に貸し出すという形をとって、有事の際には、有事というのはそういう災害の際については、避難所として活用するであったりとか、地域コミュニティとしても、この時間帯は貸していただくであるとか、そういった条件を種々つけて、実際に生野区においても、今インターナショナルスクールの学校が入っておったりとか、そういった使い方で活用されている実例がございます。



(玉置 西区役所教育担当課長)

すみません失礼いたします。ご質問ありがとうございます。

例えばですけれども、確かに学校廃校になりますと、学校という目的用途ではなくなるという手続きになります。そういった役所の手続きになります。ですので、教育委員会から所管が離れてしまうということになり得ます。

ただ、例えば九条東の地域の方、その所管の跡地のところと、その近隣の小学校との間ですか、例えばグラウンドを使って何か、こういったことあったことを何かしようかというふうになって、そこで、そういったことを使っていくとかは、それは協議をした上でといいますか、そんなことの方策っていうのは、もし今、今後考えられるということでしたら、私どももきちっとそこは確認をしたいなというふうに思っております。以上です。

(本田地域の方)

すいません、最初に質問したものですけども。

今までの質問もいろいろ聞きながらも、最初の九条東小学校がね、今後、12クラス持てないような少ない人数やということは、統合とかっていうことが検討されるのはわかるんですけど、九条東がもし100%、この数年も100%地域の方が東を使っていたとしたら、また状況は違ったんじゃないかと思うんです。

同じように南も北も、減少傾向にあるっていうことなので、場合によっては南が東に統合されるっていうことだって、あり得たのかもしれないし、そういう意味では、何かやっぱり、何で地域の方が北、南は100%が校区の学校を利用するのに、東が何でそうじゃなかったんかっていうのは、先ほど分からへんて、分からへんとは言わへんかったけど、そんな感じで答えてもらったことが、どうも納得いかない。そこはしっかり分析するべきなんじゃないかと思うことと、おそらくここ数年、九条東はもういずれなくなるだろうということの不安をあおられて、もう先に途中で転校だったり途中でなくなるのは心配やから、実際そうやって他のところを選ぶとか、そういうことが続いて、もともと少なくなってるから敬遠していくとかっていうようなことがここ数年あったんじゃないのかなと僕は思います。

北と南の統合した場合に15ページで人数あるけど、これはあくまでも最大値やって先週も聞いたんです。

100%利用した場合プラス日吉との調整校区の方も利用した場合の人数だと、最大値を取るのは、増築をする場合に、その増築枠っていうものを検討するための最大値やっていう話は先週聞いたんですけど、さっき日吉の調整区もみんなこっちに来てもらうように魅力あるっていうような学校づくりとかっていう話でしたけど、選択制はあるとしても、公立の小学校、どこの小学校を受けても同

じ教育を受けるっていうことが当たり前のことなんちゃうかなと思うので、その魅力あるっていうのはどういうことを指してるのかが僕はよく分からないことと、何か今後この最大値はあるけど増築しました。でも、北と南がまた12クラス持たれへんから、また統合します、とかにならへんのかなっていうことがすごく不安という心配です。

それは質問という意見なんですけど、最後に質問としては、今、11年の4月からが予定っていうふうになってますけど、もしこれは決定ってなるには、どういう道筋で決定になるのか、どんなタイムスケジュールで決定ってなるのか教えて欲しいです。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご質問ありがとうございます。

最後にお話をいただきました11年4月というふうなことの決定に至るまでの道筋、スケジュールっていうお話であったかと思います。

今、私どもこのパワーポイントの資料でご提示しておりますのは、区役所としての案でございます。

区役所としては、これが最善の案ではないかというふうに考えておりますけれども、こういった住民の皆様から今お聞きをまさに行っているところでございまして、これはまだ市の案ではございません。区役所としての案でございます。

ただそれを私どもとして、明日も住民説明会ございますけれども、それ以外にもいろいろお問い合わせとかいろんな方この住民説明会以外の方からのいろんなご意見も総合的に考えた上ではなりませんけれども、私どもとしては次に、市の案としてこれを進めていくというふうな手続きを取る場合、教育委員会というところに市の案という形で上げていくという手続きが必要になってございます。市の案ということでこれをそこまで持っていきましたら、今度はこれに伴います関係予算でありますとかが必要になりますので、そこは議会の方の承認が必要になって参ります。議会の承認も毎年度毎年度の予算の承認も必要になりますし、あとこの三つの小学校を二つの小学校にしていく内容の条例を議会の方でも審議をいただくという必要もございますので、議会の方でご審議いただく場っていうのは毎年度の予算プラス今申し上げた条例であるとか、そういった場で市の案をきちっと承認いただくべく私どもとしては、市の案になりましたら、私どもとしては説明を尽くして参りたいと考えております。スケジュールとしましては、そのような形にはなってございます。例えば、工事の設計のスケジュールでしたら、来年度、令和6年7年の設計と申し上げましたけれども、したらもう令和6年度予算で設計の予算というのを組まないといけません。

それを組んだ上で議会に承認をいただいて、予算というのは初めて役所は執

行できることとなりますし、令和8年度9年10年度の3カ年工事をと申し上げましたけど、工事をするというのであれば、それに関する議会の承認もまた必要になってございます。節目節目で市の案に対する議会の承認チェックを受けながら進めて参る、というスケジュールになります。

令和6年度にこの設計の予算ということになりますので、この令和6年度の予算を計上していこうと思えば、ちょうど今から予算が、市役所の中で決めるまでの間のところで、市の案というふうな形で持っていく必要がございます。この案を進めるということであれば。

予算案につきましてはいつも2月3月のところで、市会のタイミングがございますので、役所はすべての予算ですけどそれまでには全部予算の案っていうのを作りまして、議会でお諮りいただけるようにしますので2月3月のところが予算を審議するタイミングの議会の時期でございます。

(本田地域の方)

それを2月議会で決まらなかったら、令和11年4月っていうのはもう実現できない。今の間の5年ぐらい。

(玉置 西区役所教育担当課長)

今の時点では、設計2年、工事3年かかるとは聞いておりますので、私どもとしては令和6年度予算に、これ市の案として上げるということであれば、2月3月の扱いのところに提案をしないといけないのではないかと考えておりますけれども、仮にそうなった場合どうなっていくのかっていうのはまたいろんな部局の話も聞いた上でになりますので、今私どもがこの市の案ということで上程するならば、来年の2月3月市会に関連する予算として提案するというふうな形にはなってございます。

(九条南地域の方)

私は九条南に住んで、子どもたちも今小学校に通ってます。

まず東のなくなる理由で、反対されてる理由は何なんでしょう。

やっぱりお家から遠くなるのか、例えば母校がなくなるとかそういった観点で反対はされてるのでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。ご質問ありがとうございます。

先週水曜日、そして本日説明会というのをさせていただいておりますけれども、本日もお話があったかと思っておりますけれども、校区変更っていうことで対応で

きないんでしょうかというふうなご質問等がありました。今、東小学校に通って、この学校はやっぱりなくして欲しくないっていうご意見も先週確かにありましたけれども、2回こうやって説明会させていただいているところでいいましたら、今申し上げたところかなというふうには思っています。

(九条南地域の方)

九条東に入る入学率が低かったと思うんですけど、その子供たちはやっぱり北か南を選んで来られてるんですか。それとも九条じゃなくって、本田や堀江、日吉などを選んで九条地域外に行かれてる方が多いんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。

隣の学校区を選ぶことができますので、九条北、九条南小学校、日吉小学校、本田小学校を選ぶことができます。九条東小学校の校区の方は。

あとは私立に行かれたりっていうのもあるかと思います。

この小学一年生に上がるタイミングで転居、転出される方もいらっしゃるかなというふうに考えてございます。

(九条南地域の方)

校区を変更してもそれほど変わらないってことですね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

先ほども申し上げたんですけど、今々の現状を見てますと、隣の学校を選ぶことができるというふうになっておりますけれども、例えば日吉小学校或いは本田小学校から九条東小学校を選んでもかと言われたらですね、ほとんど選んでおられないというのが現状でございます。

(九条南地域の方)

私としては東がなくなっても、それほど自分自身に影響がないので、生徒さんが増えれば、我が子が通ってる学校が2つクラスになる可能性があるんで、1クラスよりは2クラスのメリットがあるので、大歓迎ではあるんですけど、反対の方もいらっしゃるんで大歓迎と言っていいのかわかりませんが。

先生も減ってるし、今後、先生足りるのかなっていう話も親の間ではしたりするので、仕方ないと言ってしまったら、どうしようもないんですけど。もちろん、将来九条北や南全部なくなる可能性もあるとは思ってますんで、今堀江小が多いんですけど、昔は廃校になるぐらい少ないっていうのは知ってるので。

もう未来のことを考えすぎてもどうしようもないので、私としてはもう、廃校になるのであれば、日吉小のエリアの方が九条南や北を選んでもらえるような学校で魅力あるものにしてもらいたいと思ってます。

私はこちらの学校は、少人数2クラス、20人から30人ぐらいで手厚く見ってもらってるんで、逆に堀江とか日吉は多いので、ちょっと我が子には合っていないと思って、魅力はあると感じて通ってます。

なので、逆にそういうところを魅力があると思って来てもらえるように、先ほど予算を振ってもらえるとあったので、何かそこを西区役所さんの方で考えてもらえるんだったら、あと先生たちですかね、何かそこを考えて欲しいかなとは思います。

運動場に関しても、逆に堀江小とかは、グラウンドが少ないんで、学年を決めて何か遊べる時間とかも制限されてたので、多少狭くなってもマシかなっていう。前向きな考えではないですけど、ここと比べるといいかなっていう、都会の小学校だから仕方がないかなってちょっと諦めてはいるんですけど。

私の感想になりましたけど、ちょっと他の本田とか日吉区域の方が来てもらえるような学校づくりにしてもらえたらいいかなと思います。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご意見ありがとうございます。

教職員に関するところの先行きとかのお話もあって、それは私も6ページでもさらっとしか説明しておりませんでした。時間の関係で申し訳ございませんでした。また、お目通しいただけたらと思ってます。

学校の先生のなり手もなかなかないということで、若手ばかりというふうな状況になっておって、どうしても小規模の学校は、教員の数が少ないということは、ベテランから若手まで、バランスよく配置するっていうのも不可能になっております。

そういった状況の中で、それは子どもたちが影響を受けることになりますので、やっぱりそういった面からも、クラス替えのできないということではなくて、やっぱりクラス替えがめざせるような規模っていうのが、必要なかなと思っておりますし、先ほど申し上げました、させていただくにあってインセンティブ予算っていうのもございますので、そういったことは、地域の代表の皆さん等ともいろんなご意見、こんなことが必要なんじゃないかというご意見もちゃんとお聞きもしながら、何か違うような予算取りというのをしていくことができますので、そこは区役所としてもちゃんと魅力ある学校と申し上げたのはそういったことも十分使いながら取り組んでいきたいと思っております。

ご意見ありがとうございました。

(九条北地域の方)

魅力ある学校づくりっていうのは魅力ある地域づくりをしないと不可能です。もうそれは言っときます。

いろんなタウンミーティングとか参加しててもね、ここら辺は西って思っていないんじゃないかという発言が多いんですわ。

みんな川向こうのことばかり言うててね。

こっちのこと何も言わないから。

魅力ある学校づくりって魅力ある地域づくりをしないと無理なんですよ。

だから学校だけで努力してたって無理なんですよ。

東小学校なんてもう、実際に複式学級やってます、一部。今日確認しました。

やってないっておっしゃってたけど、やってます。

だから複式学級っていうのはかわいそうなんですよ。

二つの学年になるから。まず解消してあげなあかん事なんですよ。

もう何か魅力あるまちづくりなんてないでしょう。

なってないじゃないですか。

だからやっぱり区役所は、原案づくりはんねやったら、魅力あるまちづくりも考えての先生を支援してあげないと駄目やと思うんですが、今なんか学校だけが頑張れみたいな感じになってるから、あとPTAだけ頑張れみたいな感じになってるから。

やっぱり地域頑張らなあかんと思うので、ぜひあの川から向こうだけが西区みたいなイメージを払拭するような、努力してくださいよ。

阪神電車こっち引っ張ってくるとか。

東小学校はグラウンド、学校教育でも使えますとかね。

魅力あるまちづくりしてくださいよ。松島公園だって、もうちょっといい公園にしてくださいよ。今陥没して使えないでしょう。あんな公園あったってしゃあないですよ。

だからこの公園だってなんぼでもできるじゃないですか。そういうのがあるから、子どもたち来るんやと思いますほんでね。

マンションじゃなくて一戸建ての方がいいっていう方もおるんですわ。

一戸建ての方がいいっていうね、それは震災のときマンション、僕経験ありますけどマンション大変なんですよ。

だからちょっとね、何か根本的なこともちょっと考えてくださいね。区役所は原案作るっていうそういう意味なんですよ。学校は魅力ある地域を作る。少しでも作っていかないとできないっすよ。

今のままだったら、よろしく願いいたします。

(玉置 西区役所教育担当課長)

ご意見ありがとうございます。

今地域の皆さん本当に学校を支えていただいておりますけれども、私どもも魅力ある学校と申し上げましたけど一方で、地域の方のご協力もいただくことだと思っておりますので、いろんな形で取り組んでいきたいと思っております。

あとはちょっと補足ですけれども、九条東小学校、統計上は複式学級になっておりますけれども、何とか今、学校或いは教育委員会からの努力によってそれぞれの学年で1人担任の先生がつくというような形では、一応辛うじてやることはできておりますが、来年度からそれがもう限界がきてるというふうなことを聞いてございます。

来年度、複式学級が二つできるという見込みであるという状況も、子どもの数を見て予測できておりますので、今この時期に提案させていただいてるという状況もございます。

いろんなご意見ありがとうございます。

(九条東地域の方)

すいません、質問ではなくて、九条東地域なんですけど、複式やってるっていう話は違います。よくいろんなところで、私も九条東連合、もともと東の卒業生にはなるんですけど、それこそもう令和6年になくなるから、きょうだいの子しか入れへんとか、いろんな噂回ってると思うんですけど、そういうような断定的なものの言われ方を外でされるから。

九条東は、もともと2クラスある学年の時から、2クラスがある5年も10年も前から、縦割り教育を大事にしてるだけです。

縦割り教育です。だから、1年生から6年生が交わって一緒に活動をしようっていう授業をやってます。

なので、違う学年と一緒に授業をしているように見えますが、あれは複式学級で授業をしてるのではなくて、違う学年、高学年は低学年の子を見てあげようとか、それを見てもらってきたから下の子を見てあげようねっていう、縦割り教育です。

なので、体育だったりいろんな、複数人でやるようなところを、違う学年と授業されてるんですけども、決して人数が少ないから複式でやってるのではなくて、もともと2つクラスあった時から縦割り授業をやってます。

(九条北地域の方)

大分前からやってますか。

(九条東地域の方)

昔からやってます。

(九条北地域の方)

先生の言い方がおかしかったのか。

(九条東地域の方)

か、とらえ方か言葉の行き違いがあったのかもしれないですけども、保護者として、複式学級でやってるわけではないので、そこだけはもう、東は複式らしいよっていうのをやめて欲しいです。

(九条北地域の方)

すいません。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。

それは区役所がお答えすべき内容かと思えます。

複式学級というのは、この統計の数上はなっておりますけども、今は一つ一つの学年に一人一人の担任の先生がついておりますので、それは、何とか教育委員会含めて、学校も含めて、努力の中でやっておりますが、それには限界がありますので、来年度からそれはもうできないという状況になっております。

(九条東地域の方)

ちょっと待ってください。来年も加配はされますよね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

失礼いたします。

先ほど説明申し上げましたように、来年度複式学級が2つできる見込みがございます。とはいえ、一学年1クラスってのはもう維持できなくなります。

ですので、私どもは、こういった形で再編ということで提案もしながら、閉校するまでの間、毎年、九条東小学校の子どもも受け入れ、毎年ですね、一学年1クラスの担任の先生がちゃんと配置をして、今やっておられるきめ細やかな教育、縦割り教育が維持できるようにやっていこうというふうに考えておりますので、来年度も一学年1クラスの教員の配置数の確保は、私どもとしては、ちゃんとそれを進めて参る所存でございます。



(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

それは、我々教育委員会も連携して取り組んでいきます。

(玉置 西区役所教育担当課長)

再来年度以降も、廃校なるまで、ずっと一学年1人の教員が、それぞれの学年の子どもたちを見れるように、ちゃんと私どもとして措置していこうということです。教育委員会にも私ども言ってますし、教育委員会からも先ほどお答え申し上げたような回答をいただいております。

ありがとうございます。

(司会)

これで質疑応答の方、終わらせていただきます。

それでは最後に、西区長の三村よりご挨拶をさせていただきます。

(三村 西区長)

はい。区長の三村です。

本日は長時間にわたるご議論をまたご質疑本当にありがとうございます。

皆様のご意見をお伺いしてご不安に思われるということもよくわかりましたし、よく理解しているところでございます。

九条南地域それから九条地域に対する熱い思いや、今後の将来についての思いやビジョンというのも強く感じられたところです。

今回ご提案させてもらったのが学校統合で三つを二つにという形にはなるんですけれども。

今九条東で、先ほどご意見いただきましたけども、本当にきめ細かい教育をやってもらってます。

それを維持しつつ、この繋がりがつくれるようないろんな子たちと触れ合えるようなそんな環境を作っていける、両面をとらえた最善の策じゃないかなというふうに我々としては思っております。

これから様々ご意見、この後も明日も会議がありますし、この後メールでいただきながら、いろんなことを検討しながら区役所としての案を固めていきたいというふうに思っております。

一点といいますか、その統合についてのお約束みたいなこととなりますけれども、九条東については、九条東小学校の跡地については、地域の方々と相談しつつ、今、防災それから地域コミュニティの核として存在しておりますので、その大事な機能を維持しつつ、今後の有効利用を考えていきたいと。これは当然我々だけで考えるんじゃなくて、地域の方々、地域の代表の方々と一緒に決めて

いくと、こういうふうにしていきたいと思っています。

それから先ほどもご心配の声、ご意見たくさんいただいたんですけれども、統合後の学校、九条北、九条南について、どういうふうに学校づくりをしていくのか、これも、地域の方々それからPTAの方々も踏まえて会議体を作った上でご相談させていただきながら、その姿を決めていきたいと、こういうふうに考えております。

まだちょっと固まってない状況ではあるんですけれども、これからいただくご意見を参考にしながら、我々としては、案を固めていきたいと、こういうふうに思っておりますのでよろしく願いいたします。

今日は長時間にわたり、また夜分遅くご参加いただきまして本当にありがとうございました。